

## 公益社団法人佐賀県理学療法士会 平成 27 年度事業報告

### 【平成 27 年度事業総括】

平成 27 年度定時総会において理事の承認を受け、引き続き行われた理事会において、第6代の会長の任を仰せつかることとなり、早くも1年が経過しました。この 1 年間は、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが加速的に進んできたように感じます。平成25年4月1日より、公益社団法人佐賀県理学療法士会として再出発し、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、より一層の「公益性」の担保ならびに「ガバナンス」の強化が必要となります。平成27年度は特に下記の点を重点課題とし、会員諸氏の協力の下、事業を進めて参りました。

#### ● 組織力の強化

佐賀県下を中部広域部、鳥栖広域部、伊万里有田広域部、杵藤広域部、唐津東松浦広域部の5地区に分け、それぞれの地区に部長を配置し、地区内での症例検討会・研修会の開催、会員の親睦会の開催等を企画運営していただいております。昨今、市町を基盤とした地域包括ケアシステムに資する組織づくりが必要不可欠となっており、本会としても、それに見合った組織強化が急務であると判断されました。そこで、各地区に「地域ケア担当者」を選任し、地区担当部長と協力しながら、その用務に就いていただくこととなりました。今後も地域包括ケアシステムに対する取り組みは益々推進され、各地区や市町村へと依頼への対応はマイクロ化していくものと思われます。組織としてこれらに対応するためには、各地域を基盤としている医療機関、介護保険関連施設、教育機関等に従事している管理者の協力体制が必要不可欠であり、管理者間の情報交換や管理者育成のための事業にも取り組んでいきたいと思っております。

#### ● 一般県民向け情報誌「ねっつ」発刊

地域住民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与できるような誌面構成とし、市町の保健・福祉関連施設などに配布し、地域住民が健康の維持・増進や疾病予防・改善に関する知識や情報の発信と普及啓発に努めることを目的に発刊することができました。今後は年に2回発行予定であり、テーマごとに充実した誌面づくりを目指していきたいと思っております。

#### ● 介護予防キャンペーンの実施

7月17日の「理学療法の日」にあわせて、全国的に理学療法週間としてイベント活動が開催されました。本会でも7月12日(日)に、イオンモール佐賀大和店の2階イベント広場を会場に実施しました。主な内容は、介護予防をテーマに、来場者自身の現在の体力を握力、2ステップテスト、片脚立ち上がりテストで評価し、身体組成の結果などから今後の健康増進や介護予防の一助となるような啓発活動を実施しました。

#### ● 多職種協働による事業展開

訪問リハビリテーション研修会においては、本会と一般社団法人佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会の3団体に加え、佐賀県介護支援専門員協議会との共同企画として実施しました。実際のグループワークでは、「ケアプランとリハ計画の融合」をテーマに、ケアマネージャーとリハビリテーション関連職が互いに視点の違いを理解し、新たな気づきの発見へつながる有意義な研修会となりました。

#### ● 佐賀県リハビリテーション3団体協議会

本会と一般社団法人佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会の3団体によって、「県内のリハビリテーション活動の円滑な推進と発展を図り、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を設立の目的とし、『佐賀県リハビリテーション3団体協議会』の設立と「一般社団法人」格の取得へ向けて3団体の役員を中心に協議を重ねて参りました。本総会において承認いただければ、地域包括ケアシステムを推進する事業(介護予防事業、地域ケア会議等)を3団体でサポートしていくための基盤づくりと組織化から進めて参りたいと思っております。

#### ● 行政および関連団体との関係性強化

佐賀県長寿社会課、健康増進課、佐賀県医師会、佐賀県介護保険事業連合会等、行政並びに関連団体との協働が益々進んでいます。特に、「医療介護連携」や「病床機能分化と連携の推進」、「地域包括ケアシステムの構築」、「ロコモ対策」などが主なテーマとして、各種会議や研修会へ出席しました。

#### ● 人材育成

『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成を目的に、公益社団法人日本理学療法士協会が推奨する「地域包括ケア推進リーダー」及び「介護予防推進リーダー」の認定制度を活用した研修会を開催しました。今後も市町の地域ケア

会議等の事業への派遣など、本認定制度により人材育成を推進させ、マイクロ化する組織対応範囲の充実を図っていく所存です。

平成 28 年度の公益目的事業は、これまで個別の事業として5項目、その下位に計 13 項目の小事業という構成となっていたものを、地域医療の状況変化に伴い多様化する地域のニーズに柔軟に対応できる体制づくりが重要と考え、個別の事業を包括的な記載に改め、具体的な事業内容については「事業例」という例示列挙にて記載するといった変更をさせていただくため「変更認定申請」の手続きを行い、平成 28 年 3 月 31 日付で完了しました。以下にその構成を示します。

1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業
  - (1) スポーツサポート事業
  - (2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業
  - (3) 理学療法の普及事業(新規追加)
2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業
  - (1) 理学療法士の学術技能向上事業
  - (2) 学会事業
  - (3) 学術・研究普及事業(他1から公1に追加)
3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業
4. 関連団体との連携および協力に関する事業
5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

これらの公益目的事業に加え、会員の福利厚生に関する事業として

1. 会員の交流援助
2. 機関誌の発刊
3. 理学療法およびリハビリテーションに関する調査研究事業

を展開していきます。加えて理事会、事務局を中心とした管理業務をコンプライアンス遵守の下、適切かつ効率的に行い、県民の皆さまの医療・保健・福祉の増進に寄与できるよう運営して参りたいと思います。

#### ※事務所メールアドレスの変更について

去る、平成 27 年 10 月、それまで使用していた事務所のメールアドレスがシステムのトラブルにより使用できなくなりました。会員の皆さまにおかれましては、ご迷惑おかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。

旧アドレス) sagapt@knh.biglobe.ne.jp ⇒ 新アドレス) office@sagapt.or.jp

## ■公益事業について

### <公益事業 1.>

理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

#### <事業の構成>

当該事業は、次の5つの事業で構成される

- (1) 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業
- (2) 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業
- (3) 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業
- (4) 関連団体との連携および協力に関する事業
- (5) 体験活動による理学療法の知識の普及啓発事業

#### <個別の事業の内容>

##### (1) 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

###### 1) リハビリテーション介護技術研修会 <社会局・公益事業推進部>

###### ○事業内容

地域や職場で介護に関わる業務に従事されている専門職の方々を対象にリハビリテーション医学概論をはじめ介護技術に関する講習会や実技指導等を行い技術の普及と人材の育成を行う。研修内容としては、リハビリテーション医学概論、寝たきりの診方、住宅改修の基本などの講座と、トランスファーテクニック(移乗動作技術)について、その理論と実技指導を

中心に行っている。障害により日常生活に支障をきたした方が、安全で安楽なポジショニングや基本動作能の遂行ができるように、介護にかかわる専門職に対し、リハビリテーションの専門的知識や技術をもって支援していくことを目的とする。

○事業の対象者

医療・介護に従事している専門職(看護師、介護福祉士、ヘルパー、作業療法士、言語聴覚士など)

○事業報告

平成 27 年度第 1 回リハビリテーション介護技術研修会

日 時:平成 27 年 10 月 18 日(日)

会 場:佐賀医療センター好生館 リハビリテーション室

内 容:「リハビリテーション医学概論」 講師:浅見 豊子 氏(佐賀大学医学部附属病院)

「褥瘡・拘縮予防のための姿勢ケアと動作介助」 講師:塚原大和 氏(佐賀県理学療法士会)

「ポジショニングの実際(実技)」 講師:塚原 大和 氏(佐賀県理学療法士会)

「ベッド上移動、起居・移乗動作介助の実際(実技)」 講師:塚原 大和 氏(佐賀県理学療法士会)

参加者数:46 名

介護職 32 名、看護職 5 名、介護支援専門員 2 名、理学療法士 5 名、作業療法士 1 名、柔道整復師 1 名

平成 27 年度第 2 回リハビリテーション介護技術研修会

日 時:平成 27 年 11 月 8 日(日)

会 場:伊万里有田共立病院 リハビリテーション室

内 容:「リハビリテーション医学概論」 講師:大川内 直木 氏(佐賀県理学療法士会)

「福祉用具の選び方」 講師:梅崎 政博 氏(佐賀県理学療法士会)

「トランスファー理論」 講師:野方 徳浩 氏(佐賀県理学療法士会)

「トランスファー実技、リハビリ介護技術実技」 講師:野方 徳浩 氏(佐賀県理学療法士会)

参加者数:27 名

介護職 20 名、看護職 2 名、介護支援専門員 2 名、作業療法士 1 名、管理職 1 名、マッサージ師 1 名。

## 2)さが桜マラソンボランティア 《社会局・公益事業推進部》

○事業内容:

主催者である佐賀新聞社からの要請を受け、さが桜マラソンにおけるボランティア事業を行う。具体的な内容として、希望する選手に対しスポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業を行うことにより、参加選手が安心して競技に臨めるようサポートをし、ひいては参加選手の障害予防や健康増進に寄与することを目的とする。

○事業の対象者:

さが桜マラソン参加選手

○事業報告:

### 【さが桜マラソン 2015 サポート事業】

日 時:平成 26 年 4 月 5 日(日) 6:30~16:30

場 所:佐賀県総合運動場およびコース救護所

参加人数:96 名

内 容:マラソン参加者に対し、スポーツマッサージやテーピング、ストレッチ・アイシング指導を行い、地域イベントにおける社会貢献活動を実施

サポート対象者:553 名(延べ人数)

### 【さが桜マラソン 2016 サポート事前研修事業】

#### ①第 1 回全体ミーティング

日 時:平成 28 年 2 月 23 日(火)20:00~21:30

会 場:鶴田整形外科リハビリテーション室

参加者:82 名

内 容:スポーツマッサージの実技講習により、サポートを行う会員の技術力向上を図る

#### ②第 2 回全体ミーティング

日 時:平成 28 年 3 月 8 日(火)20:00~21:30

場 所: 鶴田整形外科リハビリテーション室

参加者: 71 名

内 容: スポーツマッサージの実技講習により、サポートを行う会員の技術力向上を図る

③第 3 回全体ミーティング

日 時: 平成 28 年 3 月 29 日(火) 20:00～21:30

場 所: 鶴田整形外科リハビリテーション室

参加者: 96 名

内 容: 講義形式の勉強会、大会当日の打合せ

講 義: 「足とランニングについて考える」 講師: 大谷 遼 氏(佐賀県理学療法士会)

**3) 医療・介護保険制度改正の正しい理解・普及活動 < 職能局・医療保険部、介護保険部 >**

○事業内容:

改正施行された医療保険制度、介護保険制度に関する情報を速やかに収集し、県下会員ならびに関係職種に向け周知させ、その内容を利用者ならび県民へ向け伝達し、正しく運用することとその制度改正の理解を促進する事業である。

○事業の対象者:

リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

○事業報告

**【医療保険部】**

①診療報酬改定に関する情報収集

②会員、会員外からのリハビリテーションに関する医療保険制度・診療報酬質疑に対する回答及び情報発信  
診療報酬関連質疑 3 件

③県下施設での監査指導等内容の情報収集と通知

5 事業所からの情報をもとに、会員向けに法令順守に関する啓発実施。

**【介護保険部】**

①平成 27 年度職能局研修会の開催

日 時: 平成 27 年 4 月 30 日(木) 19:00～20:30

会 場: JCHO 佐賀中部病院 2F 会議室

内 容: 平成 27 年介護報酬改定に関する情報交換

講 師: 介護老人保健施設のぞみ 中村 紀子 氏 JCHO 佐賀中部病院附属介護老人保健施設 大川内 直木 氏

対 象: 佐賀県理学療法士会会員及び関連する他職種

参加者: 57 名(理学療法士 44 名、作業療法士 8 名、介護福祉士 4 名、看護師 1 名)

②平成 30 年度介護報酬改定に向けての情報収集

③会員、会員外からのリハビリテーションに関する介護保険制度・介護報酬質疑に対する回答及び情報発信  
介護保険関連質疑 3 件

**【地域包括ケア推進部】**

①県内の地域ケア会議等へ参加する理学療法士の育成

②地域包括ケアシステムに関する情報収集

**4) 介護予防実践者研修会 < 社会局・公益事業推進部 >**

○事業内容:

運動器機能向上、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防等の各分野におけるそれぞれの専門的立場から介護予防に関する講座を開催している。地域や職場で看護や介護に関わる業務に従事されている専門職の方々を対象に、介護予防に関する講演や実技指導等を行い専門的知識および技術の普及と人材の育成を行うことによって、高齢者や障害者の福祉の向上に寄与することを目的とする。

○事業の対象者:

医療・福祉・保健分野において介護予防にかかわる多職種

○事業報告

日 時: 平成 26 年 9 月 21 日(日)

会 場: 佐賀県医療センター好生館 多目的ホール

内 容: 「美味しく楽しく食べるためには」 講師: 平 いつき 氏(宇都宮病院・言語聴覚士)

「認知症予防について ～周辺症状の対応を中心に～」 講師: 上城 憲司 氏(西九州大学・作業療法士)

「運動器機能向上について」講師:渡部 雄一 氏(若楠療育園・理学療法士)

参加者:55名(介護職;9名、看護師;7名、介護福祉士;6名、生活相談員;6名、理学療法士;5名、機能訓練指導員;4名、介護士;3名、言語聴覚士;2名、施設長;2名、その他 11名;ケアマネージャー、社会福祉士、事業所主任、准看護師、看護師兼機能訓練指導員、看護職、管理者、管理者兼生活相談員、事務、主任生活支援員、健康運動指導士各1名ずつ)

## (2)理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

### 1)各ブロック研修会、専門領域部会研修会 《地区担当局、学術局・専門領域研究部》

#### ○事業内容

地区担当局症例検討会は、県下 5 広域部内でリハビリテーション関連や隣接領域の症例検討会を開催し、その地区に従事するリハビリテーション関連職種の参加機会を確保することで、近隣の病院・施設の多職種による医療・介護連携を効率的に図ることも目的とする。た、より専門的な知識・技能の習得にむけた方策支援を目的として、運動器、神経、呼吸、心血管、地域、小児、スポーツの各専門領域別による研修会や技能講習を実施する。

#### ○事業の対象者:

リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生

○事業報告(中部広域部、鳥栖広域部、伊万里有田広域部、杵藤広域部、唐津東松浦広域部の県下5地区)

### 1. 各広域部症例検討会

#### \*中部広域部

○日時:平成 27 年 9 月 15 日(火) 19:00~20:10

会場:好生館 多目的ホール

内容:演題数 3 症例

座長:大川 裕行 氏(西九州大学)

参加者:60名(会員 59名、学 1名)

○日時:平成 28 年 3 月 9 日(水) 19:00~20:30

会場:好生館 多目的ホール

内容:演題数 3 症例

座長:宮原 洋八 氏(西九州大学)

倫理研修会:講師 小松 智 氏(佐賀県理学療法士会理事)

参加者:73名(会員 73名)

#### \*鳥栖広域部

○日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)19:00~20:15

会場:医療法人社団如水会 今村病院 新館6F研修室

内容:演題数 2 症例 (1 題:10 分程度で発表、質疑応答やアドバイスを 10 分間。)

座長:小池 英和 氏(医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院)

参加者:23名(会員 22名、県外 1名)

○日時:平成 28 年 2 月 19 日(金)19:00~20:30

会場:医療法人社団如水会 今村病院 新館6F研修室

内容:演題数 4 症例(1 題:10 分程度で発表、質疑応答やアドバイスを 10 分間。)

座長:花田 裕太 氏(医療法人友愛会 大島病院)

参加者:23名(会員:23名)

#### \*伊万里有田広域部

○日時:平成 27 年 8 月 7 日(金)

会場:伊万里有田共立病院 大会議室

内容:演題数 3 症例+グループディスカッション

座長:岩永 隆 氏(西田病院)

参加者:60名(会員:59名、学生:1名)

日時:平成 28 年 2 月 5 日(金)19:00~

会場:伊万里有田共立病院 大会議室

○内容:演題数 3 症例+グループディスカッション

座 長:岩永 隆 氏(西田病院)

参加者:65 名(会員:64 名、他県士会:1 名)

**\*杵藤広域部**

○日 時:平成 27 年 8 月 1 日(土)19:00~21:00

会 場:白石共立病院 多目的室

内 容:演題数 2 症例

参加者:37 名(会員:35 名、学生 2 名)

○日 時:平成 28 年 2 月 20 日(土) 19:00~21:00

会 場:白石共立病院 多目的室

内 容:演題数 2 症例

参加者:38 名(会員:38 名)

**\*唐津東松浦広域部**

○日 時:平成 27 年 8 月 26 日(水) 19:00~

会 場:唐津赤十字病院

内 容:症例検討会 演題数 5 症例

参加者:57 名(会員 47 名 学生 10 名)

○日 時:平成 28 年 2 月 26 日(金) 18:30~

会 場:済生会介護老人保健施設まつら荘

内 容:症例検討会 演題数 3 症例

倫理研修会 講師:小松 智 氏(佐賀県理学療法士会理事)

参加者:58 名(会員 50 名 学生 5 名 OT2 名 ST1 名)

**◇専門領域部会**

**○運動器理学療法研修会**

日 時:平成 27 年 5 月 16 日(土) 13:00~17:00

会 場:西九州大学リハビリテーション棟 6 階 762 教室

講 師:石井 慎一郎 氏

(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション科 理学療法専攻 教授)

テーマ:基本動作障害の評価と治療

1、脳卒中片麻痺患者の起居動作障害に対する治療

2、人工膝関節置換術後患者の起立歩行障害に対する治療

参加者:123 名(会員:101 名、他県士会会員:15 名、他職種:4 名、学生:2 名)

日 時:平成 27 年 10 月 4 日(日) 13:00~17:00

会 場:佐賀県医療センター好生館 2 階 多目的ホール

講 師:多々良 大輔 氏(福岡志恩病院 理学療法士)

テーマ:腰椎変性疾患に対する理学療法

参加者:116 名(会員:96 名、他県士会会員:15 名、他職種:3 名、学生:2 名)

**○神経理学療法研修会**

日 時:平成 27 年 8 月 8 日(土) 14:00~17:15

会 場:医療福祉専門学校 緑生館 3 階階段教室

講 師:八児 正次 氏(医療法人社団 KNI 北原国際病院 理学療法士)

テーマ:脳卒中片麻痺者の姿勢と活動

参加者:83 名(会員:59 名、他県士会会員:21 名、他職種:1 名、学生:2 名)

**○呼吸理学療法研修会**

日 時:平成 27 年 7 月 12 日(日) 10:00~11:30

会 場:医療福祉専門学校 緑生館 3 階階段教室

講 師: 詫間 佳代子 氏(佐賀中部病院附属介護老人保健施設 理学療法士)

テーマ: 在宅での呼吸リハビリテーション

参加者: 42 名(会員: 41 名、他県士会会員: 1 名)

日 時: 平成 27 年 8 月 9 日 (日) 10:30~14:30

会 場: 医療福祉専門学校 緑生館 3 階階段教室

講 師: 高橋 仁美 氏(市立秋田総合病院 技師長 理学療法士)

テーマ: COPD の呼吸リハビリテーション

参加者: 74 名(会員: 46 名、他県士会会員: 25 名、他職種: 3 名)

### ○心管理理学療法研修会

日 時: 平成 27 年 10 月 8 日 (木) 19:30~21:00

会 場: 佐賀大学医学部附属病医院小講堂 3114 室

講 師: 千原 宏明 氏(済生会唐津病院 リハビリテーション科 理学療法士)

テーマ: 心臓リハビリテーションの基礎と在宅での工夫

参加者: 79 名(会員: 63 名、他県士会会員: 8 名、他職種: 8 名)

### ○地域理学療法研修会

日 時: 平成 27 年 10 月 22 日(木) 10:00~14:00

会 場: 佐賀県医療センター好生館 多目的ホール

講 師: 縄手 利彦 氏(医療法人剛友会 諸隈病院 理学療法士)

テーマ: 地域ケア会議の実際

参加者: 82 名(会員: 73 名、他職種: 9 名)

### ○小児理学療法研修会

日 時: 平成 27 年 9 月 5 日(土) 14:30~18:00、9 月 6 日(日) 9:00~11:45

会 場: 佐賀整肢学園からつ医療福祉センター 3 階地域交流ホール

講 師: 花井 丈夫 氏(横浜療育医療センター 担当部長 理学療法士)

アシスタント: 奥田 憲一 氏(医療福祉センター聖ヨゼフ園 理学療法士)

宮本 久志 氏(みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家 理学療法士)

参加者: 71 名(会員: 27 名、他県士会会員: 29 名、他職種: 15 名)

### ○スポーツ理学療法研修会

日 時: 平成 27 年 9 月 6 日(日) 19:00~20:30

会 場: 西九州大学 リハビリテーション棟

講 師: 常盤 直孝 氏(医療法人慶心会 川越整形外科 リハビリテーション部 理学療法士)

テーマ: スポーツフィールドにおける理学療法士の専門性 ~宮崎県の取り組みから現状を考える~

参加者: 58 名(会員: 51 名、他県士会会員: 6 名、学生: 1 名)

## 2) 新人教育プログラム研修会 <教育局・教育部>

### ○事業内容:

国家試験に合格した 3 年以内の新人理学療法士が主な対象者である。キャリアアップ事業に位置付け、基本的な知識習得を基礎に、理学療法士の質を向上させ利用者にとって有益な理学療法のあり方を学ぶことにより、県民の保健医療、福祉の向上に寄与することを目的とする。

### ○事業の対象者:

卒業後 3 年以内の理学療法士が主な対象で、本会会員および他県理学療法士、その他リハビリテーション関連職種も含む

### ○事業報告

### 「1回目」

日 時:平成 27 年 4 月 20 日(月) 19:30~21:00

会 場:西九州大学 6 階大講義室

内 容:「入会案内と手続きについて」講師:片渕 宏輔 氏(佐賀県立病院好生館)

「A-2 協会組織と生涯学習システム」講師:小柳 伸一郎 氏(多久市立病院)

参加者:89名(すべてPT 新会員:80名、既会員:9名)

### 「2回目」

日 時:平成 27 年 7 月 19 日(日) 10:00~15:10(9:00~受付)

会 場:西九州大学 6階大講義室及び中講義室

内 容:「A-1:理学療法と倫理」講師:片渕 宏輔 氏(佐賀県医療センター好生館)

「A-3:リスクマネジメント(安全管理と予防含む)」講師:梅崎 政博 氏(西田病院)

「A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む)」講師:大川内 直木 氏(佐賀中部病院附属介護老人保健施設)

「A-5:理学療法における関連法(労働法含む)」講師:中村 正造 氏(河畔病院)

「B-1:一次救命処置と基本処置」講師:小松 智 氏(鶴田運動機能回復クリニック)

「B-4:症例報告・発表の仕方」講師:辻 晃剛 氏(うえむら病院)

「D-2:生涯学習と理学療法の専門領域」講師:棕野 智治 氏(からつ医療福祉センター)

「E-3:国際社会と理学療法」講師:峰松 一茂 氏(有島病院)

参加者:A-1:76名(すべてPT、県内会員:72名、福岡県:4名)

A-3:75名(すべてPT、県内会員:70名、福岡県:5名)

A-4:77名(すべてPT、県内会員:72名、福岡県:5名)

A-5:74名(すべてPT、県内会員:70名、福岡県:4名)

B-1:22名(すべてPT、県内会員:25名)

B-4:25名(すべてPT、県内会員:25名)

D-2:50名(すべてPT、県内会員:50名)

E-3:26名(すべてPT、県内会員:26名)

### 「3回目」

日 時:平成 28 年 1 月 17 日(日) 9:30~16:15(9:00~受付)

会 場:武雄看護リハビリテーション学校 3階教室及び4階講堂

内 容:「A-1:理学療法と倫理」講師:片渕 宏輔 氏(佐賀県医療センター好生館)

「A-2:協会組織と生涯学習システム」講師:井原 雄彦 氏(ひらまつ病院)

「A-3:リスクマネジメント(安全管理と予防含む)」講師:梅崎 政博 氏(西田病院)

「A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む)」講師:棕野 智治 氏(からつ医療福祉センター)

「A-5:理学療法における関連法(労働法含む)」講師:中村 正造 氏(河畔病院)

「B-2:クリニカルリーズニング」講師:辻 晃剛 氏(うえむら病院)

「B-3:統計方法論」講師:光武 翼 氏(白石共立病院)

「C-4:高齢者の理学療法:介護保険における訪問リハビリテーションの実際」

講師:大川内 直木 氏(佐賀中部病院附属介護老人保健施設)

「C-5:地域リハビリテーション:地域での理学療法士の関わり」~野球肘検診等を通して~」

講師:小松 智 氏(鶴田運動機能回復クリニック)

「D-4:理学療法政策論」講師:峰松 一茂 氏(有島病院)

参加者:A-1:19名(すべてPT、県内会員:17名、福岡県:1名、大阪府:1名)

A-2:14名(すべてPT、県内会員:14名、福岡県:1名、大阪府:1名)

A-3:23名(すべてPT、県内会員:21名、福岡県:1名、大阪府:1名)

A-4:20名(すべてPT、県内会員:18名、福岡県:1名、大阪府:1名)

A-5:20名(すべてPT、県内会員:18名、福岡県:1名、大阪府:1名)

B-2:82名(すべてPT、県内会員:76名、福岡県:4名、長崎県:2名)

B-3:46名(すべてPT、県内会員:44名、福岡県:1名、長崎県:1名)

C-4:78名(すべてPT、県内会員:74名、福岡県:3名、熊本県:1名)

C-5:69名(すべてPT、県内会員:65名、福岡県:3名、熊本県:1名)



D-2:72 名(すべてPT、県内会員:67 名、福岡県:4 名、長崎県:1 名)

### 3) 第 24 回佐賀県理学療法士会学会 《事務局・士会学会部》

○事業内容:

科学的根拠に基づく研究の成果を一般に公開し、テーマに対して多面的・多角的に討議を興す機会として位置付ける。年に 1 回、会場および運営にかかわる担当者を県下 5 ブロックの輪番制として開催し、平成 27 年度は中部広域部が担当となり開催した。一般演題発表の他に、教育講演(シンポジウム)、市民公開講座などによってプログラムされた。

○事業の対象者:

理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生「市民公開講座」に関しては一般県民

○事業報告

日 時:平成 28 年 1 月 31 日(日) 9:00 ~ 15:50

場 所:佐賀市民会館

テーマ:『地域でつながる理学療法』

内 容:市民公開講座、教育講演、口述発表

①市民公開講座『佐賀から全国そして世界へ ー子供たちを導く佐賀流アスリート育成術ー』

講 師:横山 由美 氏(佐賀女子短期大学附属佐賀女子高等学校 新体操部顧問)

野本 尚子 氏(佐賀県立佐賀商業高等学校 フェンシング部顧問)

野口 みや子 氏(佐賀県立佐賀東高等学校 なぎなた部顧問)

座 長:平川 信洋 氏(鶴田整形外科)

②教育講演:『社会的コミュニケーションとリハビリテーション ー神経科学の観点からー』

講 師:森岡 周 氏(畿央大学)

座 長:小柳 伸一郎 氏(多久市立病院)

③口述発表:29 演題

セッション 1(運動器理学療法Ⅰ):5 演題 座長:麻生 昭秀 氏(唐津赤十字病院)

セッション 2(呼吸理学療法):6 演題 座長:江越 正次朗 氏(医療福祉専門学校緑生館)

セッション 3(神経・地域理学療法):8 演題 座長:相島 孝行 氏(伊万里有田共立病院)

セッション 4(運動器理学療法Ⅱ):5 演題 座長:政所 和也 氏(医療福祉専門学校緑生館)

セッション 5(運動器理学療法Ⅲ):5 演題 座長:田中 真一 氏(西九州大学)

④参加者数:199 名(佐賀県理学療法士会会員:192 名、県外理学療法士会会員:4 名、他職種:3 名)  
(市民公開講座:26 名)

### 4) 佐賀県理学療法士会研修会 《教育局・研修部》

○事業内容:

理学療法士の学術的および臨床的側面の強化と研鑽を支援する事業である。主に講座、セミナーといった形態であり、理学療法に特有の領域の知識や技術の習得だけでなく、隣接する医学や医療的な分野から積極的に学ぶ研修会を開催する。

○事業の対象者

理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生

○事業報告

#### ◇管理者研修会

日 時:平成27年6月28日(日) 9:30~13:00

会 場:武雄看護リハビリテーション学校 4階講堂

内 容:「管理業務において知っておきたいこと(注意しなければならないこと)」

・人事計画と採用時に知っておきたいこと

・産休・育休時の対応と見据えた人事計画

・ハラスメント(マタハラ・パワハラ等)について知っておきたいこと

・心理的な問題を抱えた職員への対応で知っておきたいこと

講 師:森本 榮 氏(医療法人社団輝生会 事務局長「理学療法士」)

参加者:佐賀県PT;16名、大分県PT;1名、佐賀県OT;1名

#### ◇トランスファーテクニック研修会

日 時:平成27年5月31日(日) 9:30~12:40 (9:00受付)  
会 場:佐賀県医療センター好生館 4階リハビリテーションセンター  
内 容:『トランスファー・ガイド』リハビリテーションスタッフのためのトランスファーの考え方  
～人に指導・助言するためのポイント～  
講 師:高橋 知良 氏(介護老人保健施設 清流荘)  
参加者:51名 内 理学療法士47名(県外2名 長崎・熊本)  
4名他職種 作業療法士1名 リハ助手1名 看護師1名 介護士1名

#### ◇介護予防推進リーダー導入研修会

日 時:平成 27 年 8 月 23 日(日)9:30~16:40(受付 9:00~)  
会 場:佐賀県医療センター好生館 2 階 多目的ホール  
内 容:『介護予防事業に関する行政組織・関連団体と福祉計画』  
講 師:介護予防推進リーダー 峰松 一茂 氏(有島病院)  
内 容:『介護予防事業の展開方法』  
講 師:介護予防推進リーダー 梅崎 政博 氏(西田病院)  
内 容:『介護予防の実践(ロールプレイ)』  
講 師:介護予防推進リーダー 川田 浩司 氏(白石共立病院)  
介護予防推進リーダー 大松 拓哉 氏(有島病院)  
内 容:『介護予防事業の企画立案(GW)』  
講 師:介護予防推進リーダー 川田 浩司 氏(白石共立病院)  
介護予防推進リーダー 大松 拓哉 氏(有島病院)  
参加者:24 名(内訳 会員 17 名 他県士会 3 名「福岡 2 名・熊本 1 名」 他職種 4 名「ST」)

#### ◇地域包括推進リーダー導入研修会

日 時:平成 27 年 10 月 18 日(日) 9:00~16:10  
会 場:西九州大学  
内 容:『地域包括ケアシステムについて』  
講 師:地域包括推進リーダー 峰松 一茂 氏(有島病院)  
内 容:『地域ケア会議とは(必要とされる背景と位置づけ)』  
講 師:地域包括推進リーダー 梅崎 政博 氏(西田病院)  
内 容:『地域ケア会議に求められる理学療法士の役割』  
講 師:地域包括推進リーダー 土井 秀幸 氏(介護老人保健施設しゃくなげ)  
内 容:『模擬会議の実際と心構え』  
講 師:地域包括推進リーダー 大川内 直木 氏(佐賀中部病院附属介護老人保健施設)  
参加者:29 名(会員:23 名 他県士会:6 名)

#### ◇内部障害研修会

日 時:平成 27 年 9 月 27 日(日) 9:30~12:30  
会 場:佐賀県医療センター好生館 2 階 多目的ホール  
内 容:『疾病管理としての理学療法』一データに基づいた運動指導の実際一  
講 師:松永 篤彦 氏(北里大学大学院医療系研究科)  
参加者:71 名 内 理学療法士 69 名(県外 15 名 長崎 7 名 福岡 5 名 熊本 2 名 大分 1 名)  
作業療法士 1 名(県内) 学生 1 名(宮崎リハビリ学院)

#### ◇リハビリテーション工学研修会

日 時:平成 27 年 12 月 13 日(日) 10:00~13:10

会 場:佐賀県医療センター好生館 2階多目的ホール

テーマ:『リハビリテーション工学の最近の動向』

内 容:『住環境と福祉機器の最新の知見』

講 師:松尾 清美 氏(佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター 准教授)

内 容:『リハビリテーション領域における先端医療～ロボットリハビリテーションについて～』

講 師:浅見 豊子 氏(佐賀大学医学附属病院 リハビリテーション科 診療教授)

参加者:22名 内訳 理学療法士 21名 作業療法士 1名 途中退席 1名 欠席 3名

#### ◇脳卒中研修会

日 時:平成 27 年 5 月 10 日(日) 9:30～16:00

会 場:佐賀県医療センター好生館 2階多目的ホール

内 容:『脳卒中患者の歩行再建～なぜ脳画像をみるのか、なぜ長下肢装具を使うのか～』

講 師:吉尾 雅春 氏(千里リハビリテーション病院 副院長)

参加者:佐賀県理学療法士会会員 108名

### (3)理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

#### 1)臨床実習指導者研修会 <教育局・教育部>

○事業内容:

臨床実習の位置付け、指導者側である臨床の理学療法士の役割、学生理解、教育目標から教育評価、問題解決方法と臨床指導方法など広範にわたり、臨床理学療法士が適切にそして安心して学生指導に従事できるよう支援している。内容は講座のみならず、チーム編成によるワークショップを実施し、問題解決に向けた取り組み方等をグループ討議している、情報の共有化に努める。

○事業の対象者:

理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)

○事業報告:

日 時:平成 27 年 12 月 6 日(日) 9:30～15:00

会 場:医療法人松籟会 河畔病院

テーマ:「卒前教育(臨床実習)と卒後教育の進め方」

内 容:「卒後教育を見据えた臨床実習の進め方」

「卒後の臨床教育の進め方」

講 師:中川法一 氏(医療法人増原クリニック 副院長)

内 容:シンポジウム～卒前教育と卒後教育の現状と課題～

「当院での臨床実習指導の取り組み」 峰松 一茂 氏(有島病院)

「当院での卒後教育の取り組み」 田中 正昭 氏(白石共立病院)

座 長:中川 法一 氏

参加者:佐賀県会員:17名

### (4)関連団体との連携および協力に関する事業

#### 1)訪問リハビリテーション研修会の共同開催

○事業内容:

訪問リハビリテーションに従事する、または地域リハビリテーションに興味のある理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他関連職種を対象に、佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会と協力し、研修会の企画から研修当日の運営まで、共同で行う。在宅療養を支援するためには、地域医療・福祉施設と行政も含めた連携と機能分担によるネットワークづくりが必要であり、その中心を担うリハビリテーション専門職の人材育成を目的とする。

○事業の対象者:

佐賀県理学療法士会・佐賀県作業療法士会・佐賀県言語聴覚士会会員、その他関連職種(看護師、介護支援専門員、社会福祉士など)

○事業報告

日 時:【1日目】平成 27 年 11 月 21 日(土)10:30～17:30 【2日目】平成 27 年 12 月 20 日(日)10:00～15:30

【3日目】平成 28 年 3 月 26 日(土)17:00～18:30

会 場:【1 日目】佐賀駅北館3F ホール 【2日目】佐賀県医療センター好生館2F 多目的ホール

【3日目】佐賀在宅生活サポートセンター 3階研修室

内 容:

<1日目>

「リハマインドと生活行為向上について」 講師:熊谷 隆史 氏(緑生館 作業療法士)

「ケアマネジメントについて」 講師:片淵 博嗣 氏

(JCHO 佐賀中部病院附属居宅介護支援センター 主任介護支援専門員)

「リハマネジメントについて」 講師:岩永 隆 氏(医療法人光仁会西田病院訪問リハビリテーション事業所 理学療法士)

「グループワーク「ケアプランとリハ計画の融合～自立支援を目指して～」

<2日目>

「シーティングを感じよう、考えよう」 講師:中村 研司 氏(ラックヘルスケア株式会社 九州営業チーム課長)

「在宅での緊急時対応について」 講師:伊東 正広 氏(佐賀県医療センター好生館 ACLS-BLS インストラクター)

<3日目>

「これからのリハビリテーション～活動・参加を支援するとは～」 講師:内田 正剛 氏(株式会社くますま 作業療法士)

参加者:延べ153名

1日目参加者数:55名(会員19名、作業療法士4名、言語聴覚士6名、ケアマネージャー26名)

2日目参加者数:53名(会員21名、作業療法士6名、言語聴覚士6名、ケアマネージャー20名)

3日目参加数:45名(会員20名、作業療法士17名、言語聴覚士6名、介護福祉士2名)

## 2) 摂食嚥下リハビリテーション研修会の共同開催

○事業内容:

関連団体との連携および協力に関する事業として、平成 26 年度より実施している。摂食・嚥下に関わる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士をはじめ、看護師、歯科衛生士、栄養士、介護福祉士、その他さまざまな職種を対象に、佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会と協力し、研修会の企画から研修当日の運営まで、共同で行う。「食べる」ということは、人間にとって最も重要な欲望であり、その機能を改善することは対象者に大きな喜びを与えることとなる。その反面、摂食・嚥下障害による誤嚥は生命の危機に直結する重大な問題でもあるため、より安全に、より高い QOL の向上を目的に摂食・嚥下リハビリテーション研修会を開催する。本会は介護予防実践者研修会のなかの一科目で摂食嚥下に関する研修会を定期的で開催しており、また訪問リハビリテーション研修会において 3 団体のまとめ役として、その実績を生かしイニシアティブを取って企画から運営を担うことを計画している。

○事業の対象者:

佐賀県理学療法士会・佐賀県作業療法士会・佐賀県言語聴覚士会会員、その他関連職種(看護師、介護支援専門員、社会福祉士など) 講師

○事業報告:

日 時:27 年 8 月 29 日(日) 16:30～18:00 16:00 受付

会 場:佐賀県医療センター好生館 2 階 多目的ホール

内 容:「摂食・嚥下リハビリテーションと栄養管理」

『嚥下造影・内視鏡の診かた』

講師:山之内 直也 氏(佐賀県医療センター好生館 リハビリテーション科:医師)

『誤嚥性肺炎への対応と予防 ～リハビリと口腔ケアを中心に』

講師:村岡 俊一 氏(佐賀県医療センター好生館 リハビリテーションセンター:言語聴覚士)

『リハビリテーションにおける栄養管理の重要性』

講師:椛 美紗子 氏(佐賀県医療センター好生館 栄養管理部:管理栄養士)

参加者:72名 内 理学療法士14名(県外1名 福岡)、作業療法士17名、言語聴覚士39名  
他職種2名(看護師1名 栄養士1名)

## (5) 体験活動による理学療法の知識の普及啓発事業

### 1) 高校生の職場体験 <社会局・公益事業推進部>

○事業内容:

理学療法週間(7/10～7/18)にあわせて、県内の公立・私立高等学校へ案内文およびパンフレットを送付し、理学療法士の勤務する医療・福祉施設への職場体験を募集している。応募してもらった高校生が希望する協力病院・施設と日程調整等を行い、職場体験を実施し、この職場体験を通して理学療法やリハビリテーションの啓発活動を行う。

○事業の対象者:

佐賀県下の高校生

○事業報告

実施期間:平成 27 年 7 月 1 日～8 月 31 日

協力可能と返事があった施設:32 施設

実際の高校生受け入れ施設:10 施設

各施設内訳:

新武雄病院(10 名)、鶴田整形外科(5 名)、有島病院(4 名)、武雄看護リハビリテーション学校(4 名)、鶴田運動機能回復クリニック(3 名)、ひらまつ病院(2 名)、河畔病院(2 名)、織田病院(2 名)、佐賀記念病院(1 名)、まごころ医療館(1 名)

参加生徒:10 校 34 名

参加高校内訳:

白石高校(11 名)、武雄高校(7 名)、多久高校(4 名)、鹿島実業高校(3 名)、嬉野高校(3 名)、鹿島高校(2 名)、唐津西高校(1 名)、鳥栖商業高校(1 名)、佐賀学園高校(1 名)、龍谷高校(1 名)

参加学年内訳:1 年生 0 名、2 年生 17 名、3 年生 14 名、学年不明 3 名

## 2) 理学療法週間における商業施設でのイベント

○事業内容:

当事業は、公益社団法人日本理学療法士協会による全国的な理学療法週間事業と連携して県民に対し理学療法啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する認識を向上させることを目的とする。更に、介護予防のための体験活動等を通じ、県民のリハビリテーションについての知識向上を図り、県下の保健・医療・福祉の質的向上を目指すものである。

○事業の対象者:

一般県民

○事業報告:

介護予防をテーマに、来場者自身の現在の体力を筋力、バランス能力、身体組成などの面から理解して頂き、今後の健康増進や介護予防の一助となるように PR を実施した。

開催日時:平成 27 年 7 月 12 日(日) 11 時～15 時

会場:イオンモール佐賀大和店 2階イベント広場

事業内容:

- ①体力測定:握力、2 ステップテスト、片脚立ち上がりテスト
- ②個別健康相談
- ③宣伝物品の配布
- ④身体組成測定…測定結果から、生活習慣に対する具体的なフィードバック
- ⑤ストレッチ指導

来場者:一般県民(20 代～80 代の男女 67 名)

## ■その他の事業(相互扶助等事業)について

### ◇会員の福利厚生に関する事業

#### 1) 会員の交流援助 <事務局・福利厚生部>

○スポーツ交流会:フットサル大会

日 時:平成 27 年 11 月 1 日(日)15:30～

会 場:武雄市白岩体育館(武雄市武雄町大字武雄4814)

参加者:98 名(10 チーム)

内 容:PT を中心とした多職種 10 チームが参加し、佐賀リハビリテーション病院チームが優勝した。

### 機関誌「広報はがくれ」の発刊 《事務局・広報部》

内容) 各種研修会等の事業実施報告や事業計画、研修会案内、理事会の議事録、職場紹介などが主な内容  
発送先) 県内の施設会員と自宅会員に発送

#### ○事業報告

- ・広報誌「はがくれ」No.102～105 号発刊  
発行部数:No.102～105=1,250 部(計 5,000 部)  
送付先: 県内の施設会員と自宅会員

### 県民向け広報誌「ねっつ」の発刊 《事務局・広報部》

内容) 理学療法士の一般的業務内容の紹介、佐賀県理学療法士会の取り組みの紹介、機能訓練の紹介などが主な内容  
送付先) 県内各施設、各都道府県理学療法士会、県内関連団体、佐賀県庁、県内各市町村役場など

#### ○事業報告

- ・佐賀県理学療法士会広報誌「ねっつ」Vol.01 発刊(2015 年 12 月)  
発行部数:2,000 部  
送付先: 県内各施設、各都道府県理学療法士会、県内関連団体、佐賀県庁、県内各市町村役場など

### 3) 理学療法およびリハビリテーションに関する調査研究事業 《社会局・調査部》

#### ○事業報告

目的: 本調査は佐賀県に在職する理学療法士の施設、養成校に対して施設情報及び求人状況を把握し、県内の様々な各施設における需給バランスを検討することを目的として実施した。本調査は佐賀県に在職する理学療法士の施設、養成校に対して施設情報及び採用状況を把握するためのアンケート調査であり、現在の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の需給バランスを検討することを目的としている。

平成 27 年度の採用状況に関して、佐賀県士会会員の勤務する施設及び養成校、総数 156 施設に対し需給状況についてアンケート調査を実施した。アンケートの内容は①施設名、②施設区分、③開設者、④採用状況について実施した。また、施設区分を医療保険領域施設、介護保険領域施設、その他の大項目で分類(表1)を行い、需給状況の傾向を調査した。回収作業に関しては返信用の封筒にて回収し分析を行った。

(1) 回収率と施設内訳: 156 施設のうち 100 施設からの回答あり。回収率は 64.1%であった。

回収率: 平成 22 年度 67.9%、平成 23 年度 57.6%、平成 24 年度 83.3%、平成 25 年度 70.5%、平成 26 年度 69.2%  
平成 27 年度 64.1%

\* 結果報告は平成 28 年度 広報はがくれ 第一号に掲載予定

### 4) 佐賀理学療法士学術誌の発行について 《学術局・学術誌部》

#### ○佐賀県理学療法士会 学術誌「理学療法 さが」発行

- ・ISSN 2188-9325
- ・Vol.2.No.2.2015 (平成 28 年 2 月発行: 内容 原著論文 8 題、短報 3 題、症例検討 1 題)
- ・印刷部数: 1300 部
- ・送付先: 佐賀県理学療法士会会員全員、日本理学療法士協会その他関係機関

### ■管理業務について

#### ○理事会開催

- 第 1 回 平成 27 年 5 月 8 日(金)
- 第 2 回 平成 27 年 5 月 24 日(日)
- 第 3 回 平成 27 年 6 月 16 日(火)
- 第 4 回 平成 27 年 8 月 18 日(火)
- 第 5 回 平成 27 年 10 月 13 日(火)
- 第 6 回 平成 27 年 12 月 15 日(火)
- 第 7 回 平成 28 年 2 月 2 日(火)

## 《事務局・事務部》

(会議)

○事務局会議(年 3 回)

(事業報告)

- (1) 包括的会員管理システムへの対応及び補助
- (2) 会員入会・異動・休会・退会届の承認及び協会・他県士会との連携
- (3) 会員名簿の管理
- (4) 公益社団法人に関する事務手続き及び佐賀県医務課、法務課との連携に関すること  
A) 変更認定申請 B) 平成 28 年度事業計画および予算書の提出
- (5) 総会、理事会などの諸会議の準備・調整
- (6) 他関係団体との連携・調整
- (7) 他都道府県士会及び関連諸団体のニュース・機関誌等の保管
- (8) 定款・定款細則及び諸規定の運用
- (9) 公文書・報告書などの発送・受領及び議事録などの保管・管理(公文書発行番号 H27-81)
- (10) 公印の管理
- (11) 弔・祝電など適切な慶弔行為の実施
- (12) 公益社団法人日本理学療法士協会事務局及び九州ブロック会等の連携
- (13) 物品管理 等

## 《事務局・財務部》

(事業報告)

- (1) 会費納入状況
- (2) 通帳管理、予算執行、複式簿記管理、税理士と連携し決算諸表作成
- (3) 出金・入金伝票及び命令簿等の管理
- (4) 必要経費支払い、各部局事業への費用調達、講師謝礼金等の納税 等

## 《事務局・広報部》

(事業報告)

- (1) ホームページの管理
- (2) 公益目的事業のお知らせの更新
- (3) 各種研修会情報の更新
- (4) 会員へのメール配信システムによる情報発信  
…平成 27 年度の発信回数 合計 77 回

## ○士会長会議出席、その他

- (1) 日本理学療法士協会組織運営協議会  
・平成 27 年 11 月 8 日 田町カンファレンスルーム(東京) 出席者 片渕 宏輔
- (2) 臨時都道府県理学療法士会会長会議  
・平成 27 年 9 月 11 日 TKP 田町カンファレンスセンター(東京) 出席者 片渕 宏輔  
・平成 28 年 3 月 21 日 TKP 田町カンファレンスセンター(東京) 出席者 片渕 宏輔
- (3) 日本理学療法士協会職能関連業務執行委員会  
第 1 回 平成 27 年 4 月 29 日 田町カンファレンスルーム(東京) 出席者 小柳 伸一郎  
第 2 回 平成 27 年 7 月 31 日 田町カンファレンスルーム(東京) 出席者 片渕 宏輔  
第 3 回 平成 27 年 9 月 28 日 田町カンファレンスルーム(東京) 出席者 片渕 宏輔  
第 4 回 平成 28 年 3 月 6 日 田町カンファレンスルーム(東京) 出席者 片渕 宏輔
- (4) 公益社団法人日本理学療法士協会 第 44 回定時総会出席  
日時:平成 27 年 6 月 13 日(土)  
会場:ベルサール半蔵門(東京)  
出席代議員:小柳 伸一郎、片渕 宏輔、峰松 一茂、椋野 智治

- (5)九州ブロック合同士会長会議(平成 27 年 11 月 13 日:) 出席者:片渕 宏輔、大川内 直木、小柳 伸一郎
- (6)九州ブロック会士会長会議出席  
第 1 回(平成 27 年 7 月 25 日:福岡) 出席者:片渕 宏輔、大川内 直木  
第 2 回(平成 27 年 11 月 13 日:熊本) 出席者:片渕 宏輔、大川内 直木、小柳 伸一郎、北島 貴大  
第 3 回(平成 28 年 3 月 26 日:福岡) 出席者:片渕 宏輔、峰松 一茂
- (7)都道府県理学療法士会事務局長会議出席 出席者:大川内 直木  
日時:平成 27 年 7 月 6 日 11:00~16:00  
会場:田町カンファレンスルーム(東京)
- (8)九州ブロック役員研修会出席  
日 時:平成 28 年 3 月 27 日 10:00~12:00  
会 場:博多グリーンホテル 2 号館  
テーマ:「公職選挙法と選挙活動」  
出席者:片渕 宏輔、峰松 一茂、溝上 昭宏

## ○学術関連会議出席、その他

(事業報告)

- (1)九州ブロック学術・教育担当国会議出席(教育局・学術局)  
日 時:平成27年7月26日 13:00~15:00  
会 場:博多グリーンホテル2号館2階10会議室  
出席者:椋野 智治(学術局長)、峰松 一茂(教育局長)
- (2)九州ブロック会臨床実習関係国会議出席  
日 時 平成 27 年 11 月 21 日 15:00~17:00  
会 場 宮崎リハビリテーション学院 会議室  
出席者 井原 雄彦(教育部長)
- (3)『包括的会員管理システム』への対応(生涯学習部)  
・県士会主催研修会情報を協会システムへの登録  
・新人教育プログラム、ポイント対象研修会でのカード受付  
・新人教育プログラム対象研修会でのカード受付  
・専門認定理学療法士ポイント対象の研修会の登録及び参加者の管理  
・県士会会員の参加履修登録の管理  
新人教育プログラム及び生涯学習におけるポイント対象の研修会 38回(54科目)  
生涯学習における会員の動向 H28年2月末22現在  
新人教育プログラム修了率 63.93%  
専門分野への登録率 41.66%  
専門認定理学療法士取得者数 専門理学療法士 8名、認定理学療法士 18名

## ■委員会活動について

《表彰委員会》

日 時:平成 27 年 12 月 3 日(木)19:00~

場 所:佐賀県理学療法士会事務所

参加者:委員長他理事 7 名

内 容:①平成 28 年度日本理学療法士協会協会賞候補の推薦について

②平成 28 年度秋の叙勲及び賜杯並びに藍綬褒章候補者推薦について

③医療功労者推薦につて

④佐賀県理学療法士会表彰規定について



公益社団法人佐賀県理学療法士会 事業体系

◇公益目的事業について

【公益事業 1.】理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法士の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

事業名	事業内容	チェックポイントの事業区分
(1) 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業		
	1) リハビリテーション介護技術者研修会	(3) 講座、セミナー、育成
	2) さが桜マラソンボランティア	(18) 上記の事業区分に該当しない事業
	3) 医療・介護保険制度改正の正しい理解・普及活動	(5) 相談、助言
	4) 介護予防実践者研修会	(3) 講座、セミナー、育成
(2) 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業		
	1) 各地区研修会、専門領域研究部研修会	(3) 講座、セミナー、育成
	2) 新人教育プログラム研修会	(3) 講座、セミナー、育成
	3) 佐賀県理学療法士会学会	(3) 講座、セミナー、育成
	4) 佐賀県理学療法士会研修会	(3) 講座、セミナー、育成
(3) 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業		
	1) 臨床実習指導者研修会	(3) 講座、セミナー、育成
(4) 関連団体との連携および協力に関する事業		
	1) 訪問リハビリテーション研修会の共同開催	(3) 講座、セミナー、育成
	2) 摂食・嚥下リハビリテーション研修会	(3) 講座、セミナー、育成
(5) 体験活動による理学療法士の知識の普及啓発事業		
	1) 高校生の職場体験	(4) 体験活動等
	2) 理学療法週間における商業施設でのイベント	(4) 体験活動等